

<p>研修名</p>	<p>令和6年度 ゲートキーパー養成研修 こころの応急処置を学ぼう ～メンタルヘルス・ファーストエイド研修～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野 准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和7年3月5日(水) 14:30~16:30</p>
<p>開催場所</p>	<p>総合保健福祉センター(アシスト21)6階 視聴覚室</p>
<p>参加者数</p>	<p>北九州市民 25名</p>
<p>研修内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス・ファーストエイドやうつ病・自殺に関する基礎知識、傾聴の基本的技術など、丁寧かつ分かりやすく先生に説明していただきました。 ・参加者は熱心に聞きながら、メモを取り先生のお話に関心していました。 ・メンタルヘルス・ファーストエイドに基づく対応を学ぶために、2人1組でロールプレイも行いました。参加者同士で活発に意見交換している姿がみられ、活気にあふれた研修会となりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは話を聞けるような人になりたいと思います。家に帰ってテキストを読み返したいと思っています。 ・うつ病についての理解が深まりました。ロールプレイは何度も読んで身につけていこうと思います。次回は是非引きこもりについての講習も受けてみたいです。 ・早期発見、早期治療の重要性を学ぶことができたので見て見ぬふりをしないよう心がけて人への興味、思いやり、想像を働かせたい。 ・ロールプレイングで体験できたので実際の場面でやってみたいと思います。 ・りはあさる=日々の仕事に活用させて頂きます。加藤先生の講義、とても判りやすかったです。私も、一人でも多くの困っている方に寄り添いたいと思います。 ・ゲートキーパー講座は以前受けたことがあります。今日は詳しく学ぶことができました。“具体的で”特に傾聴の“型”を知ることができ練習しようと思います。 ・MHFAの重要性と必要性を多くの場面で目にすることが増えてきました。